

ヲ少將スコベレフ及少將イメレチンスキーニ與フ午前十時三十分少將スコベレフノ許ニ到著ス
軍ハGRIVICA堡壘ヲ占領セリト雖攻撃進捗ノ見込ナキヲ以テ退却ニ決セリ

貴官ハ現陣地ヲ維持シ能ハサル時ハ漸次Tucenicaニ向ヒ退却スヘシ但シ成ルヘク夕刻前ニ之ヲ實施スヘカラス退却ニ際シテハ少將レオンチエフノ騎兵ノ掩護ヲ藉ルヲ要ス

中將ツォトフハ此命令發送ノ後中將クリロフカ少將スコベレフニ増加隊ヲ派遣セシコトヲ知り中央方面ニ在ル砲兵ノ掩護ヲ顧慮シ中將クリロフニ命シテ該部隊ヲ召還セシム此命令ノ發送時刻ハ不明ナリ然レトモ中將クリロフハ増援隊ノ派遣ヲ必要缺クヘカラサルモノト認メ其命令ヲ實施セス既ニシテ歩兵第百十八聯隊ハTucenica河谷ニ進入シ歩兵第百十七聯隊ハ之ニ續テ將ニ河谷ニ入ラントス依テ中將ツォトフハ自ラ馬ヲ馳セ歩兵第百十七聯隊ニ追及シ之ヲ舊位置ニ歸還セシム歩兵第百十八聯隊ハ午後四時頃第二嶺ニ到著シ少將スコベレフ部隊ノ退却ヲ收容シ後第四軍團ノ位置ニ復歸

左翼方面ノ
情況

ス中將クリロフハ少將スコベレフ部隊ニ増援隊派遣後中將ツォトフニ増援ヲ請ヒシモ中將ツォトフハ退却ヲ顧慮シ之ヲ許サス是日第四軍團爾餘諸隊ノ情況變化ナシ

十二日朝少將スコベレフ部隊ハ歩兵第八聯隊(第三大隊ノ三中隊缺)ヲ以テ第十八第十九號堡壘中間散兵壕ヲ歩兵第六第七第六十一第六十二狙撃歩兵第三旅團ノ混成部隊ヲ以テ兩堡壘及其附近散兵壕ヲ守備シ砲兵第二旅團第四中隊ノ二門ハ第十九號堡壘ニ在リ又歩兵第八聯隊ノ二中隊及集成部隊ノ一部ハ兩側ノ警戒ニ任シ歩兵第八聯隊ノ一中隊集成歩兵約二大隊騎兵二中隊半ハ豫備隊ト爲リ第三嶺南側ニアリ

Lucenica兩岸各堡壘ノ土軍ハ午前六時頃ヨリ少將スコベレフ部隊ニ歩砲火ヲ集注シ少將スコベレフノ第一線部隊ハ狹少ナル地域ニ多數ノ部隊集團シ然モ工事不完全ナルノミナラス正面及背面ヨリ射撃ヲ受ケ死傷續出シ其一部ハ遂ニ第三嶺ニ向ヒ退却ヲ始ム此時少將スコベレフハ砲兵第二旅

午前七時土軍第一回ノ出撃

團第一中隊三門ノ内一門更ニ第二中隊門二及同第三旅團第五中隊門六ヲ第二嶺ヨリ第三旅團第五中隊ハ第一嶺後方ヨリ第三嶺ニ進メ陣地ヲ占領セシム
午前七時土軍ハ第二十號堡壘ヨリ第十九號堡壘ニ向ヒ出撃ス少將スコベレフハ此朝豫備隊步兵二大隊ト一中隊ト共ニ第三嶺上ニ在リ土軍ノ出撃ヲ知り豫備隊ノ歩兵一中隊ヲ第一線ノ左翼ニ増加シ之ヲ擊退ス土軍ハ第二十號堡壘附近ノ高地線ニ停止シ露軍ト相對峙ス

午前八時少將スコベレフハ中將ツオトフヨリ増援隊ノ來援ヲ斷念シ且別命アル迄現陣地ヲ固守スヘキ命ヲ受ク

午前九時土軍第二回ノ出撃

午前九時土軍再ヒ第二十號堡壘附近ヨリ攻撃前進ス少將スコベレフハ土軍ノ右翼ヲ攻撃セント欲シ第三嶺ニ在ル豫備隊ノ内集成歩兵部隊カ及砲兵第三旅團第五中隊ノ四門ヲ第三嶺北斜面ニ前進セシム土軍ハ露軍第一線ノ西方約五百米ニ前進セシトキ露軍豫備隊ニ其右翼ヲ攻撃セラレ再ヒ舊位置ニ退却ス同時有力ナル土軍兵力不明第二十一第二十二號堡壘ヨリ第三

午前十時土軍第三回ノ出撃

嶺北斜面ニ在ル集成歩兵部隊及砲兵第三旅團第五中隊ノ四門ノ左翼ニ向ヒ出撃シ同中隊ノ四門ハ第三嶺上ニ退却シ又其歩兵ハ左翼ヲ後退シテ之ト相對峙ス

午前十時頃土軍砲各六門第十二號堡壘北方高地及第二十號堡壘東方高地ニ現ハレ兩側ヨリ露軍第一線ヲ縱射シ露軍ノ損害頗ル大ナリ依テ少將スコベレフハ第三嶺ニ招致セシ砲兵諸中隊砲兵第二旅團第一第二中隊ノ各二門同第三旅團第五中隊ノ六門ヲシテ

第二十號堡壘東方陣地ニ在ル土軍砲兵ヲ射撃セシム幾モナク第二十號堡壘附近ノ土軍砲兵ハ稜線後ニ退キ露軍砲兵ハ爾後間接射撃ヲ行フ

午前十時三十分土軍ハ各堡壘ノ歩砲火ヲ第十八號第十九號堡壘ノ線ニ在ル露軍第一線ニ集注シ三度攻撃前進ヲ開始シ爲ニ第十九號堡壘守兵ノ一部ハ退却ヲ始メ第十八號堡壘ノ守兵亦將ニ退却セントス是ニ於テ少將スコベレフハ直ニ馬ヲ馳セテ退却中ノ部隊ヲ集合シ再ヒ第一線ニ復歸セシム此處置類ル迅速ニシテ土軍ヲシテ遂ニ其混雜ニ乗スルコト能ハサラシム土軍ハ勇敢ニ前進シ其砲兵モ亦熱心之ニ協

力セシモ露軍ノ奮鬪遂ニ土軍ヲ擊退ス

此時少將スコベレフハ攻撃軍司令官カール王ヨリ退却ニ關スル命令ヲ受

領セシモ依然現陣地ヲ占領シ尙機會ヲ捕捉シテ以テ戰況ノ發展ヲ圖ラン

ト欲シ右側掩護ニ任セシ步兵第八聯隊第三大隊ノ二中隊第三嶺東端附近ニ在リ及集成

ノ一小部隊ヲ第一線ニ増加シ右側掩護ノ爲敗竄兵ヨリ成ル集成一中隊此

集合セシモノ如シ及砲兵第三旅團第五中隊ノ二門ヲシテ第二嶺東端 ツチヘンナ 河谷

ニ接スル稜線ヲ占領セシム該部隊所命ノ地ニ到著スルヤ直ニ ツチヘンナ 河

谷ヲ南進セシ土軍一部隊兵力不明ノ攻撃ヲ受ケ第二嶺南方ニ退却中會第二嶺

南方谷地ニ在リシ步兵第六聯隊ノ半大隊ノ増援ヲ得更ニ進テ土軍ヲ攻撃

シ同時少將スコベレフハ豫備隊ニ在リシ騎兵二中隊ヲシテ徒歩戰ヲ以テ

此攻撃ヲ援助セシム土軍支ヘス遂ニ第二嶺ヲ棄テ プレナ Plevna 市内ニ退却シ露

軍ハ前記步兵約三中隊砲二門ヲ以テ第二嶺東端ヲ占領ス

午後一時第十九號堡壘ニ在リシ砲兵第二旅團第四中隊ノ二門敵火ノ爲破

正午稍前
ニ於ケル土
軍第四回ノ
出撃

壞セラレシヲ以テ少將スコベレフハ第三嶺ニ在リシ砲兵第三旅團第五中
隊ノ三門ヲ同堡壘ニ前進セシメ次テ砲兵第二旅團第二中隊ノ二門ヲ第十
八號堡壘ニ前進セシム

午後二時少將イメレチンスキーハ步兵第五聯隊第二第三大隊及狙撃歩兵

第十一第十二大隊ノ敗竄兵約二百名ヨリ成ル集成部隊ヲ少將スコベレフ

部隊ニ増援シ少將スコベレフハ步兵第五聯隊ノ四中隊ヲ第一線ニ増加シ

又其一中隊及狙撃歩兵旅團ノ集成部隊ヲ第三嶺西北方ニ散開シテ第二十

一第二十二號堡壘ニ對シ左側ヲ掩護セシメ第五聯隊ノ二中隊ヲ第二嶺東

端ニアリシ右側掩護部隊ニ増加シ步兵第五聯隊ノ三中隊及敗竄兵ヨリ集

成セシ一小部隊步兵第二師團ノ各步兵聯隊ニ屬スル約三百名並三門ヲ豫備隊トシテ第三嶺ニ位置セ

シム其後砲兵ハ第三嶺北斜面ノ葡萄林中ニ隱蔽シテ陣地ヲ占領ス

午後二時過少將スコベレフハ中將ツォトフヨリ極力現陣地ヲ固守スヘシ

今日増援隊ノ派遣ヲ請求スヘカラストノ訓令ヲ受ク

午後三時土軍第五回ノ出撃

午後三時土軍ハ少將スコベレフノ第一線部隊ヲ包圍スル如ク攻撃前進シ最猛烈ニ其左翼ヲ攻撃セシモ露軍ハ苦戦ノ後漸ク之ヲ撃退ス此戰鬪ニ於テ第一線ニアリシ砲五門第十八號堡壘ノ第二旅團第三中隊ノ三門ノ内其一部ハ破壊シ又砲手馬匹ノ殆ト全部ハ死傷シ爾後第一線ノ守備ハ全ク歩兵ノミヲ以テスルニ至レリ此戰鬪後土軍ノ射撃頗ル緩徐トナリ戰場一帶ニ靜肅トナル

少將スコベレフ及少將イメレチンスキー部隊ノ歩兵ハ開戰當初一萬三四千人アリシモ目下死傷約六千人ニ達シ殘餘部隊ハ疲勞困憊且互ニ混淆シ秩序整ハス加フルニ二名ノ旅團長狙撃歩兵第三旅團長步兵第五名ノ聯隊長第七第八第六十二聯隊長並同第六十一聯隊長ヲ失ヒ大隊長以下ノ死傷亦頗ル多ク指揮殆ト行ハレス而シテ今ヤ約二千名ハ第一線ニ約二千名ハ第三嶺ト第一線間ノ地區ヲ東西方面ニ對シテ防禦シ約一千名ハ第二第三嶺上ニアリテ背面及兩側並 アレスタウツァ Prestovica 村ノ守備ニ任シ約二千名ハ殆ト戰鬪力ヲ失ヒ後方ニ離散

ス而シテ砲兵ハ第三嶺北斜面ニ砲三門第二嶺ニ第三旅團第三第六中隊第三十旅團第四中隊アリ又其後方ニハ アレスタウツァ Prestovica ニ歩兵第五聯隊ノ一大隊三百五十名及砲兵第三旅團第五中隊ノ二門及其東方谷地ニ砲兵第二旅團第五第六中隊アリ

少將スコベレフハ土軍ノ射撃沈靜ナルヲ見且第四第九軍團ハ午後二時攻撃運動ヲ中止セリトノ通報ヲ得何人ヨリ受領セシカ不明ナリ土軍ハ第四第九軍團正面ノ若干部隊ヲ ウヂヒツァ Tugencia 左岸地區ニ集結シ此方面ヨリ一大攻勢ニ轉スルニアラサルヤヲ疑ヒ第一線陣地ヲ巡視シテ志氣ヲ鼓勵ス此時 プレヴナ Plevna 市東側ニ土軍ノ歩兵約十大隊集合セルヲ見タリ少將ハ第三嶺ニ歸還セシトキ第四軍團ノ歩兵第百十八聯隊増援トシテ同地ニ到着セシヲ以テ之ヲ第三嶺南側ニ位置セシメ豫備隊トナス少將ハ初メ其一部ヲ第一線ニ増加セントセシモ聯隊ハ十隊トナセリ一日ノ戰鬪ニヨリ將校以下千二百八十名ニ減員セルヲ知

午後四時三十分土軍第三次出撃

午四時頃ヨリ激烈ナル銃砲火全線ニ起リ午後四時三十分頃土軍復タ攻勢

者ハ將官二名將校百三十二名下士卒六千三百六十六名即將校四割四分下士卒四割一分ノ損害ヲ受ク

附記 オスマンパシアハ十一日夜歩兵約五大隊ヲ *Tucenica* 東方地區ヨ

リ左岸ニ派遣シ第十八第十九號堡壘ノ回復ヲ圖ル十二日午前中央及

東方面ノ露軍攻撃ノ模様ナキヲ以テ更ニ該方面ヨリ歩兵五大隊ヲ又

第十六號堡壘附近ヨリ歩兵二大隊ヲ *Tucenica* 左岸ニ移シ出撃ヲ行ハ

シメ午後四時過遂ニ露軍ヲ堡壘ヨリ擊退ス

十二日土軍右翼方面 少將スコベレフ部ノ兵力歩兵第三十三乃至三十五大

隊ニ上レリ

集成騎兵團ハ此日依然前日ノ位置ニアリテ *Vit* 河左岸地區ヲ警戒シ情況

大ナル變化ナシ

十三日攻撃軍諸隊ハ概ネ前日ノ位置ニ在リテ隊伍ノ整頓ヲ行フ土軍ハ *Chif*

集成騎兵團ノ情況

十三日ノ情況

會戰後ノ情況

Plavnaノ攻圍

Vica 及綠山方面ニ於テ小規模ノ出撃ヲ行ヒシモ悉ク擊退セラレ

十四日軍事會議ノ結果爾後 *Plavna* ヲ攻圍スルニ決シ攻圍線占領ノ爲左ノ

如ク區署ス

一、羅馬尼軍ヲシテ概ネ現在ノ線ヲ占領シ且第八號堡壘ヲ守備セシム

二、第九軍團ヲシテ羅馬尼軍ノ左翼ニ連繫シ *Pelusat-plavna* 道ニ至ル間ノ

地區ニ陣地ヲ占領セシム

三、第四軍團ヲシテ砲兵山ヨリ左翼 *Tucenica* 河ニ至ル間ニ陣地ヲ占領セ

シム

四、歩兵第二師團及狙擊歩兵第三旅團ハ一時第四軍團長ノ隸下ニ屬シ軍

團ノ後方ニ在リテ軍總豫備隊ト爲ス

五、中將クリロフ 從來中將クリロフハ第四軍團ノ指揮ヲ執リテシテ騎兵四十五中隊

騎砲三十門 騎兵第四師團ノ龍騎兵第四聯隊槍騎兵第四聯隊計十二中隊

中隊増加セラレ十三中隊ト爲ル此中隊増加ノ顛末不詳羅馬尼第二第三師團ノ騎兵四聯隊(減員ノ爲十三中隊ニ編成セラレシモノノ如シ騎砲第七第八中隊)下シ(哥薩克騎砲兵第八第十五

中隊羅馬尼騎ヲ指揮シ Dobnik 附近ニ在リテ Plevna-Seha 道方面ニ行動セシ
 砲兵一中隊
 メ又中將ラシユカリエフヲシテ騎兵五聯隊二十四中隊騎砲十二門騎兵第九師團龍騎兵第九聯隊
 九聯隊槍騎兵第九聯隊驃騎兵第九聯隊計十二中隊ドン哥薩克騎兵第二十四第三十八聯隊此
 兩聯隊ハドン哥薩克騎兵第二師團第一旅團ニ屬スルモノニシテ十四五日頃到着セリ本章一
 般ノ情況參照騎砲兵第十六中隊ヲ指揮シ Bohot 西方地區ニ在リテ Plevna-Lozva
 道方面ニ行動シ封鎖ヲ確實ニシ且土軍後方ノ交通通信機關ヲ破壊シ
 敵ノ給養品ヲ掠奪シ及增加隊ノ來援ヲ拒支セシム

右區署ニ基キ各部隊ハ十四日午後六時ヨリ移動ヲ始メ概ネ十七日迄ニ各
 所定ノ位置ヲ占メ直ニ其陣地ニ工事ヲ施セリ

會戰ノ結果

第二會戰ニ參加セシ部隊左ノ如シ附錄第十
三參照

羅馬尼軍步兵四十二大隊騎兵三十二中隊砲百十四門

內豫備隊等ニ在リテ交戦セサリシモノ步兵二十三大隊砲三十六門

露軍步兵六十四大隊騎兵五十六中隊砲三百二十四門

內豫備隊等ニアリテ交戦セサリシモノ步兵一大隊砲二十四門

合計步兵百六大隊騎兵八十八中隊砲四百三十八門

內豫備隊等ニ在リテ交戦セサリシモノ步兵二十四大隊砲六十門

其死傷將校以下約一萬消費砲彈約三萬發ナリ附錄第十
六參照

小銃彈ノ消費數不明ナルモ十一日中央方面ニ於ケル消費彈藥數左ノ如シ

クロバトキン著
露土戰史ニ據ル

步兵第六十三聯隊 五萬五千二百九十六發 一銃平均二十一發

步兵第六十四聯隊 二萬四千六百五十發 一銃平均十發

步兵第六十八聯隊 四萬五千三百六十發 一銃平均二十四發

步兵第六十九聯隊 九萬九千七百四十四發 一銃平均四十三發

附記 Плевна 第三會戰ニ參與シタル土軍ノ兵力ハ步兵四十九大隊會戰中
二大隊

增加セシ模樣ア騎兵約二十六中隊不正規騎兵ヲ合
シタル總數ナリ砲七十門兵員三萬五千乃

至四萬ニシテ同會戰中ノ損傷詳ナラサルモ土軍ノ記錄ニ據レハ三四

千他ノ記錄ニハ七千ナリ
ト云フモノアリ

Plavna ^{フレンナ}ニ於テ露軍第三回ノ攻撃ヲ擊退セリトノ報君府ニ傳ハルヤ土帝ハオスマンパシアニ其偉勳ヲ表彰スル爲カジ(常勝ノ義)ノ稱號ヲ與ヘタリ

十三日露軍ハ死屍收容ノ爲休戦ヲ申込ミシモオスマンパシアハ陣地ノ細部ヲ偵察セラレンコトヲ恐レ之ヲ拒絶ス 之カ爲爾後連日彼我ノ死屍陣地直前ニ横ハリ衛生上大ナル害ヲ及ホセリ

オスマンパシアハ露軍重ネテ來襲センコトヲ慮リ大ニ陣地ノ補修構築ニ力ヲ用キ殊ニ第七號堡壘及第九號砲臺附近ノ陣地ヲ堅固ニシ又露軍綠山ヲ放棄セシ後モ輕舉出動スルコトヲ戒メ第十八第十九號堡壘ノ補修ヲ行フ 當時土軍ハ火砲僅少ナリシ爲專ラ步兵火ヲ發揚スルヲ主トシ陣地ヲ構築シ火線ヲ數線ニ設ク側防ニ力ヲ注ケリ十四日オスマンパシアハ陸軍大臣ニ増加隊請求ノ爲左記要旨ノ報告ヲ呈ス

軍ハ週日ニ互ル敵ノ攻撃ヲ擊退シ敵兵約七八千名ヲ殺傷シ砲三門ヲ鹵獲ス然レトモ敵ハ近ク前面ニ留リ銳意戰備ヲ整フ而シテ我ハ彈藥糧食

將ニ盡キントシ兵員ノ減損少カラス曩ニ請ヒシ歩兵二十大隊及彈藥未タ到著セサルヲ以テ或ハ退却ノ已ムヲ得サルニ至ルヲ保シ難シ然レトモ退却亦容易ノ業ニアラス故ニ軍ハ隊伍ヲ整頓シ後 ロフチヤ Lovca ヲ回復シ以テ後方連絡線ノ安全ヲ計ラントス之カ爲ニ尙別ニ歩兵十大隊ヲ ブルナ Bulina Orhanie 間ノ要地ニ配置スルヲ要ス又騎兵ハ處々ニ分屬シ且不正規騎兵ハ逃走スルモノ多キヲ以テ其補欠トシテ正規騎兵三聯隊ヲ又步兵諸大隊欠員ノ補充トシテ五六千人ヲ送遣セラレンコトヲ請フ尙將官三名死傷セシヲ以テ適任者ヲ得ンコトヲ切望ス

オスマンパシアハ其後 時日不明 スライマンパシアヨリ左記要旨ノ電報ヲ受領

本卷二四二頁參照

Plavna 領有ノ價值ハ開戦初期ニ於テ大ナリ今ヤ露軍攻勢ノ銳鋒挫折セルヲ以テ此機ニ乘シ貴官ハ ブルナ Plavna ヲ棄テ巴爾幹山脈ニ退キ之ヲ守備スルカ又ハ ツルノ Turovo 附近ニ進出シ四角要塞ノ軍ト協同シ以テ シプカ Sipla 附近ノ

敵ヲ攻撃スルヲ有利トス

オスマンパシアハ右意見ノ主旨ニ同意セシト雖軍ノ名譽ハ *Mevna* ノ保持ニ在リ故ニ命令アルニアラサレハ之ヲ棄ツルヲ欲セス又縱令命令アルモ先其退却ヲ容易ナラシムル爲 *Novos* ヲ奪還スルノ要アリト爲シ其要旨ヲスライマンパシアニ回答スルト共ニ皇帝ニ之ヲ上申ス皇帝ハ *Mevna* 放棄ヲ非トシオスマンパシアニ同地ヲ固守スヘキ旨ヲ命令シ爾後土軍ハ銳意陣地ノ補修構築ニ努メタリ

第十六章 七月中旬以後ヨリ九月中旬ニ至ル迄ノ小亞細亞作戰軍ノ概況

第一卷一覽圖第五參照

七月中旬一
般ノ情況及
軍司令官ノ
決心

露軍小亞細亞軍ハ七月中旬既記ノ如ク 第一卷三一〇頁以下參照 各方面共ニ國境附近ニ退却シテ増加隊來著ヲ待ツ即チ「リオン」兵團ハ *Atzehlku* 河畔ニ又本軍ノ右

「リオン」兵
團ノ情況

及中央縱隊ノ主力ハ *Kirkdara* 附近ニ一部ハ *Araban* 其左縱隊ハ *Igdun* 附近ニ在リ各陣地ヲ構築シ而シテ步兵第四十師團及選拔步兵第一師團ハ小亞細亞軍ノ増援部隊トシテ八月及九月頃戰場ニ到着セントス露軍司令官大將ロイスメリコフハ敗戦ノ主因ハ寡弱ナル作戰軍ヲ連絡困難ナル各方面ニ分散セシメタルニ在リトシ増加隊ノ來著スル迄ニ兵力ヲ中央ニ集結シ以テ土軍主力ニ當ラント欲シ「リオン」兵團ニ屬セシ步兵第三十九師團第二旅團ヲ本軍方面ニ招致シ且此間ヲ利用シテ軍ノ後方ニ於ケル不穩ノ土民ヲ鎮壓ス 步兵第二十師團第二十一師團並ニ多數ノ不正規兵ハ是ヨリ先主トシテ是等鎮壓ノ任ニ膺リシカ今ヤ作戰軍ノ一部モ一時之ニ協力セリ露軍ノ此ノ如ク多數ノ兵力ヲ後方靜謐ノ維持ニ充テシハ土軍ノ一部海上ヨリ「リオン」兵團ノ背後 *Ardarjan* 州ノ *Sokum Gudautj* 附近 *Tatun* ノ北方百十乃至百五十吉米ニ上陸シ土軍ト同種類ノ住民ヲ煽動シテ害ヲ露軍ニ加ヘントシタルニ據ル第一卷三一〇三一二頁參照

「リオン」兵團ハ步兵第三十九師團第二旅團本軍方面ニ招致セラレシヲ以テ同兵團司令官中將オグロブシヨノ隸下ニ在ルモノ步兵十三大隊騎兵二十中隊砲六十門人員約一萬八千人トナリ而シテ同兵團ハ *Atzehlku* 河畔ノ地

形ノ險ニ據リ八月二十四日及九月二十一日デルビツシユパシアノ指揮スル約二萬ノ土軍ノ攻撃ヲ擊退セリ九月二十一日ニハ土軍陸海連合軍ノ攻撃ヲ受ク然レトモ「リオン」兵團ハ兵力劣勢ノ故ヲ以テ進テ攻勢ヲ執ルコトナク單ニ陣地ヲ固守スルヲ以テ足レリトシ土軍司令官及同方面ノ土軍指揮官デルビツシユパシアモ亦前記兩回ノ攻撃ニ失敗セシ以來進テ攻勢ヲ取ルコトナク遂ニ十一月ニ至ル迄殆ト休戦ノ状態ヲ呈スルニ至ル而シテ此方面ハ峻峻ナル山地ヲ以テ主力ノ戰場ト分離セルヲ以テ兩方面ノ作戰ハ相影響スルコト極メテ薄ク殆ト獨立セル戰場ヲ成形式

七月下旬本軍情況

七月下旬本軍方面ニ於テハ *Araban* 守備兵ハ同地附近ノ暴民ノ鎮壓ニ任シ其兵力ハ屢々變化セシモノノ如ク之ヲ詳ニスルコト又舊左縱隊ハ依然中將テルグカヲ得サルモ歩兵十大隊内外ヲ基幹トセシモノノ如シ又舊左縱隊ハ依然中將テルグカソツフ之ヲ指揮シ步兵十四大隊騎兵二十四中隊砲四十四門人員約二萬人ヲ以テ *Igdur* 附近ニ陣地ヲ占領シイスマイルパシアノ指揮スル約三萬五千ノ土軍ト相對峙シ舊左縱隊ハ爾今テルグカソツフノ部隊ト稱ス 首力ハ大將ロイスメリコフ自ラ之

八月中旬本軍情況

ヲ指揮シ *Kars* 東方 *Kurkdara* ノ後方ニ陣地ヲ占領シ *Aladja-Dag* 山附近ニ在ル土軍司令官ノ指揮スル約三萬七千ノ土軍ト相對峙ス此ノ頃本軍主力ノ兵力ハ步兵三十六大隊騎兵七十二中隊砲百二十門人員約五萬人ヲ算ス露軍司令官大將ロイスメリコフハ增加隊ノ來著ニ先タチ土軍ノ爲ニ擊破セラレンコトヲ虞レ七月下旬以後小部隊ヲ以テ屢々 *Aladja-Dag* 山ノ土軍陣地ヲ攻撃セシメ以テ敵ヲ忙殺シ且露軍ノ攻撃近キニ在ルヲ裝ハンコトヲ努メシモ土軍中央部隊ハ敢テ攻勢ニ轉スルノ色ナク一意 *Aladja-Dag* 山ニ工事ヲ施セルヲ見テ豫想ノ如ク其兵力強大ナラサルヤヲ疑ヘリ會々八月十二日步兵第四十師團及 *Araban* 守兵ノ大部來援セシヲ以テ本軍主力ノ兵力ハ步兵四十八大隊騎兵七十一中隊砲百六十門ニ達ス是ニ於テ大將ロイスメリコフハ步兵五大隊砲十二門ヲ中將テルグカソツフノ部隊ニ増加シ先ツ該部隊ヲシテ土軍イスマイルパシアノ部隊ヲ擊破セシメ十八日同部隊ノ *Igdur* 附近ニ到著セシ頃本軍主力ヲ以テ *Aladja-Dag* 山一帯ノ陣地ヲ攻

擊シ一ハ地形敵情ヲ偵察シ一ハ土軍中央部隊ヲシテイスマイルパシアノ
 部隊ヲ増援スルコト能ハサラシム然ルニ土軍ノ陣地意外ニ堅固ナリシヲ
 テ現在ノ兵力ヲ以テ力攻シ難キモノト判斷シ九月下旬到著スヘキ撰拔
 歩兵第一師團ノ來著ヲ待チテ更ニ攻勢ニ轉スルニ決シ舊陣地ニ退却ス
 八月十八日中將テルグカソツフハイスマイルパシアノ左側背ヲ攻撃スル
 目的ヲ以テ ^{イグヂニル} Igdir ヲ出發シ同時大將ロイスメリコフニ増援ヲ請フ依テ同
 大將ハ八月二十三日歩兵第三十九師團長中將デウエルニ歩兵七大隊半騎
 兵四中隊砲十二門ヲ指揮セシメ該方面ニ派遣ス然ルニ二十四日夜土軍大
 舉シテ露軍ノ主力ヲ攻撃シ陣地中央ノ要點ヲ奪取セシヲ以テ遂ニ中將デ
 ウエルノ部隊ヲ中途ヨリ歸還セシム
 中將デルグカソツフノ部隊ハ ^{イグヂニル} Igdir ヨリ西進中二十四日却テイスマイル
 パシアノ爲メ攻撃セラレ苦戰數刻ノ後漸ク之ヲ擊退ス然レトモ同日夜本
 軍主力方面ニ於ケル失敗ノ爲中將デウエルノ増加隊ヲ招還セラレシコト

ヲ知り中將デルグカソツフハ攻勢ヲ斷念シ再ヒ ^{イグヂニル} Igdir ニ歸還シ爾後十月
 ニ至ル迄狀況變化ナシ
 以上ノ如クシテ小亞細亞ノ露軍ハ歩兵第四十師團ノ來著後一時大ニ活動
 セシモ忽チニシテ沈黙シ彼我兩軍概ネ七月中旬ノ位置ニ於テ相對シ爾後
 露軍ハ九月下旬選抜第一師團ノ來著ヲ得十月以後ニ於テ逐次戰況ノ發展
 ヲ見タリ

七月下旬土
 軍ノ情況

附記 當時土軍ハ軍ノ素質不良ナルト輜重ノ不備及指揮官ノ怠慢ナリ
 シ爲メ七月上旬ニ於ケル戰勝ヲ利用シ露軍ヲ急追セス露軍ヲシテ遂
 ニ ^{カリス} Kars ノ攻城諸材料ヲ後送シ又 ^{バヤセト} Bayaset ノ圍ヲ破リテ容易ニ守兵ヲ救
 出セシムルニ至ル而シテ ^{バタム} Batum 附近ニ在ルデルビツシニパシアノ部
 隊ハ前述ノ如ク二回ノ攻撃ニ失敗セシ以來全ク守勢ヲ執リ又軍司令
 官ハ中央部隊ノ兵力過少ニシテ獨力攻撃スルヲ不利トシイスマイル
 パシアノ部隊國境ヲ越エテ ^{エリヴァン} Erivan 方面ニ進入スルヲ待チ之ニ策應

八月土軍ノ
情況

シテ攻勢ニ轉セントセシモ該方面ノ戰況進捗セサリシヲ以テ其間
 Aladja-Dag附近ニ陣地ヲ占領シ以テ同方面ノ戰況ノ發展ヲ待テリ
 露軍ハ八月中旬以後本國ヨリ續々増加隊ヲ得ツツアルニ反シ土軍ハ
 全ク増加隊ヲ得ルノ見込ナク又海上輸送ヲ以テ Abchasien地方ニ上陸
 シテ露軍背後ノ騷擾ニ任セシ土軍ノ一部隊兵力不明ナレトモ歩兵十五大隊ヲ下ラサルカ如シハ此頃
 歐羅巴ニ招致セラレ土國側ノ報告ニ據レハ八月二十四日ニハ駐在セル榎本武揚ノ寺島外務卿ニ宛テタル報告第九乃至第十一號小亞細亞方面戰況報告ニ
 據レハ露國新聞ロスキイインワリドハ八月十九日迄ハ土軍未タ全ク引返ササルモ當時多分ハ既ニ歐羅巴戰地ニ轉送セラレシモノナルコトヲ報告セリト要スルニ當時ノ八月下旬
 情報其他歐羅巴戰地ノ戰況ヨリ察スルニ八月下旬乗船出帆シタルモノノ如シ
 ヨリ九月初ノ間ニ同方面ノ土軍ニ合シタリ本卷二三四一之ニ加フルニ
 糧秣彈藥漸次欠乏ヲ訴ヘシヲ以テ土軍司令官ハ露軍ノ未タ増援兵ヲ
 得サルニ乘シ攻勢ニ轉セント欲シ八月十五日 カルス Kars 守兵ノ大部ヲ招
 致シイスマイルパシアノ部隊ト共ニ攻撃ヲ實施セントス是ヨリ先イ
 スマイルパシアハ大ニ攻撃ヲ督促セラレ八月五日國境附近山地ヲ踰

ヘテテルグカソツフノ部隊ヲ攻撃セシモ功ヲ奏セス依テ前衛ヲ以テ
 同山ノ要地ヲ占領セシメ主力ヲ以テテルグカソツフ部隊ノ右側ニ進
 出セント欲シ嶮岨ナル山道ヲ經テ前進ス之カ爲メ行進大ニ遲滯シ八
 月二十日漸ク イシヂユル Ischiyul 西方平地ニ進出ス會テテルグカソツフノ部隊ハイ
 スマイルパシアノ側背ヲ攻撃スル目的ヲ以テ西進中ナリシヲ以テ二
 十四日兩軍期セスシテ イシヂユル Ischiyul 西方ニ於テ衝突シイスマイルパシアハ猛
 烈ニ攻勢ヲ執リシモ亦效ヲ奏セス遂ニ國境山地ニ退却スルニ至レリ
 土軍中央部隊ハイスマイルパシアノ攻撃ヲ實施セシ二十四日夜ヲ期
 シテ大舉シテ攻勢ニ轉セシモ其主攻擊ヲ陣地ノ最堅固ナル正面ニ選
 ヒシ爲メ僅ニ一要地ヲ占領シ得タルノミ大ニ戰況ノ發展ヲ見ルニ至
 ラス イシヂユル Ischiyul 方面ニアリシデルビツシユバシアノ部隊モ同日攻勢ニ轉セシモ失敗セリ是
 等三部隊ハ計畫的ニ日ヲ期シテ攻勢ニ轉セシモノナリヤ否ヤ確實ナル記録ナシ
 當時土軍ノ給養ハ漸次困難ニ陥リ病傷者ノ加療亦意ノ如クナラス加
 フルニ二十四日ニ於ケル各方面ノ失敗ハ著シク志氣ヲ沮喪セシメタ

ルヲ以テ司令官ハ九月上旬土帝ニ左記要旨ノ意見ヲ具申セリ

露軍ハ日々増加隊ヲ得ツツアリ目下其兵力我ニ五倍セリ故ニ軍ハ

カリス要塞ニ退却シ同地ヲ固守スルヲ要ス

然ルニ土帝ハ絶對ニ此ノ意見ヲ排斥シ却テ攻撃ヲ督促セシヲ以テ軍司令官ハ先イスマイルパシアヲシテテルグカソッフノ部隊ヲ擊攘セシメ其成功ヲ俟チテ攻勢ニ轉セント欲シイスマイルパシアニ攻撃ヲ命令ス是ニ於テイスマイルパシアハ九月十九日露軍ヲ攻撃セシモ亦奏效セス土軍ノ士氣ハ爲ニ大ニ沮喪スルニ至レリ爾後土軍ハ各方面共ニ全然攻勢ノ企圖ヲ斷念シ一意露軍ノ攻撃ヲ遷延持久セントスルニ至ル

第十七章 開戰當初ヨリ九月中旬ニ至ル迄ノ

黑海及同沿岸防備ノ情況

第一卷露土兩軍作戰地總圖參照

黑海沿岸防備計畫

露軍ハ露土兩國黑海艦隊勢力ノ差異著シカリシヲ以テ第一卷二七、三六頁參照當初ヨリ土軍ニ黑海ノ制海權ヲ讓レリ故ニ露軍ハ開戰前既ニ黑海沿岸防備ニ關シテ計畫スル所アリ而モ其防備ノ範圍ハ兵力ノ關係上羅露兩國ノ國境ヨリケルチKerc,ニ至ル間ニ限定セルモノノ如クケルチSochi以東高加士ノ沿岸ハ是ヲ小亞細亞作戰軍ニ委ネ敢テ顧慮セサリシモノノ如ク黑海沿岸防備計畫ノ要領左ノ如シ此計畫ハ七十六年秋ニ決定セラレタルモノナリ

- 一、敵ノ上陸及重要ナル港灣ニ對スル砲擊ヲ防支スルヲ以テ目的トス而シテ其方法ハ陸海共ニ守勢ヲ執ルコト
- 二、黑海艦隊ハ土國艦隊ニ比シ著シク微弱ナルヲ以テ敵ノ上陸企圖ニ對シテハ專ラ陸軍ノ兵力ニ依リ防禦スルコト
- 三、沿岸ノ要地ニハ防備ヲ施シ從來ノ要塞ハ之ヲ増築シ一層堅固ナラシメ殊ニ Odessa, Ocakow, Sevastopol Kerc,ニ防禦ノ全力ヲ傾注シ砲兵ヲ増加シ水雷ヲ敷設スルコト

黑海艦隊ノ根據地ハ Sevastopol, 及 Nikolajew ニシテハ最良ノ根據地タリ(第一卷五九頁參照)

第十七章 開戰當初ヨリ九月中旬ニ至ル迄ノ黑海及同沿岸防備ノ情況

四、黑海艦隊ノ戰鬪力ヲ成ルヘク増加スル途ヲ講スルコト

五、沿岸防禦ノ爲メ使用シ得ル兵力ハ中將セメカノ指揮スル左記ノ部隊
並ニ黑海艦隊トス 第一卷附錄第四
同卷二七頁參照

海岸軍

步兵四十八大隊

騎兵三十八中隊

砲 二百十六門

第七、第十軍團ニ屬スルモノニシテ第十軍團ノ騎
兵第十師團ニハ不正規騎兵ニ中隊ヲ増加セリ

計

人員七萬二千三百十四人

右ノ内中將ウエレウキンノ指揮スル一兵團
ハ四月中旬一時作戰軍ノ編組ニ入りタリ

右ノ外 Odessa, Nikolajew, Kerç,

等ノ要地ニハ地方大隊要塞歩砲兵部

隊黑海々軍兵等人員計二萬五千乃至三萬人ヲ有ス

黑海々軍

甲鐵海防艦二

水雷艇 七

其他非装甲ノ巡洋艦及假裝巡洋艦アリ

六、陸上防備ニ關シテハ「オデッサ」軍管區司令官中將セメカ之ニ任シ海上

ノ防備ニ關スル海軍ノ行動ニ關シテハ黑海艦隊司令官之ニ任ス但シ

中將セメカニ協議スルヲ要ス

前記計畫ニ基キ第七第十軍團ハ一月既ニ Odessa 及 Krim 半島ニ到着シ中將

セメカノ部署ニ依リテ四月中旬第七軍團ノ主力ハ歐羅巴作戰軍ノ左翼ヨ

リ Odessa 附近ニ至ル地區ヲ守備シ 軍團ノ一部ハ中將ウエレウキンノ指揮ニ屬シテ一
時作戰軍ノ編組内ニ入り下流 Donau 地域ニ在リ

第十軍團ハ其左方ニ連繫シテ Belz 至ル地區ヲ守備ス而シテ第七軍團ハ

其守備地域ヲ三地境ニ分チ更ニ之ヲ若干ノ地區ニ區分シ各獨立セル守備

隊ヲシテ一定ノ地區ヲ防禦セシメ各地區ハ騎兵ヲ最前線ニ出シテ警戒シ

又第十軍團ハ沿岸ニ一部ノ警戒兵ヲ配布シ主力ヲ要地ニ分置シ土軍某地

點ニ上陸ヲ企畫スルトキハ之ニ對シテ集中的ニ之ヲ攻撃スル如ク其配備ヲ定ム又 Odessa, Oczakow, Sewastopol, Kerch, ノ各海岸要塞ニアル要塞砲兵ノ人員僅少ニシテ且其教育充分ナラサリシ爲 Kerch 要塞ヲ除ク外黑海艦隊ノ將校及水兵ヲ使用シ又黑海艦隊ノ主力ハ Zikoriaev ニ一部ハ各要地ニ在リ而シテ海岸要塞ニハ港口防禦ノ爲多數ノ水雷及防材ヲ敷設シ探照燈ヲ備ヘ急造砲艦ヲ作りテ港内障碍物ノ掩護ニ供ス當時露軍ハ觸發水雷及視發水雷ヲ使ヲ以テ多く視發水雷ヲ使用セリ

陸上ノ情況

中將ウエレウキンノ指揮スル部隊ハ下流「ドナウ」兵團 Donau 河ヲ渡過シ Badag 進入スルニ際シ少將アレクサンドロフノ率ユル第四軍團ノ部隊ト交代シ海岸軍ニ復歸ス第一卷一三〇頁參照
七月下旬下流「ドナウ」兵團ハ Cernavoda, Kustendje ノ線ニ達ス然レトモ當時土軍ノ一部 Sulina ヲ守備シ在リシヲ以テ該地附近ヨリスル土軍ノ上陸ヲ慮シ兵團ノ背後ヲ安全ナラシムル目的ヲ以テ八月上旬海岸ノ一部中將ウエレウキン

海上ノ情況

ノ指揮スル歩兵第三十六師團ヲシテ少將アレクサンドロフ支隊ト交代セシメ且ノ主力下流「ドナウ」師團ト云フ
Sulina ヲ攻略セシム同部隊ハ先一部ヲ以テ Wilkow ヲ占領シ Sulina ノ攻撃ヲ準備ス此際露軍裝甲艦二隻假裝巡洋艦四隻水雷敷設艦二隻ヨリ成ル一艦隊ハ Odessa ヨリ Kilia ニ向ヒ該隊ニ送ルヘキ彈藥糧食等ノ輸送ヲ掩護セシモ幸ニ土軍ノ妨害ヲ蒙ルコトナカリキ既ニシテ下流「ドナウ」師團主力ハ少將アレクサンドロフ部隊ト交代シ Donau 河口兩岸ニ進出セシヲ以テ第七軍團ハ九月上旬右方ニ部隊ヲ移動シテ其間隙ヲ補填シ下流「ドナウ」師團ト密ニ連絡ヲ保持ス
八月ヨリ九月ニ互ル間情況變化ナシ
海上ニ於テハ露軍ハ二十餘隻ノ汽船其内十五隻ハ速力十二ノ者ヲ徵用シ火砲及水雷ヲ裝備シテ之等ニ要スル機關手火夫ハ汽船會社ノ者ヲ使用シ水雷隊ノ爲ニハ臨時養成所ヲ設ケ又其他技術上ノ要員ノ不足ハ波羅的艦隊ノ者ヨリ採用補充セリ艦隊ノ勢力ヲ補ヒ而シテ露國黑海艦隊ハ初メ土軍ノ優勢ヲ顧慮シ防禦要領ニ基キテ專ラ守勢ヲ執レリ然ルニ土軍艦隊ハ開戰直後高加士ノ沿岸ヲ砲

擊シ其後一部ノ軍隊ヲ上陸セシメテ小亞細亞軍ノ背後ヲ脅威セシ外第一卷三四五頁參照他ノ方面ニ於テハ僅ニ兩三回 Odessa, Newastopol 等ヲ砲擊シタルノミニシテ其活動盛ナラサリシヲ以テ露國黑海艦隊ハ時々外海ニ遊弋シテ以テ敵ノ乗船ヲ捕拿シ又水雷ヲ以テ敵艦ヲ擊沈セント欲シ出動セシコトモ少カラス 海軍少尉マカロフ(日露戰役ニ於テ旅順艦隊司令官タリ)ハ水雷ヲ專ラ攻勢的ニ利用セシト欲シ中將セメカニ建議スル所アリ依テ中將ハ水雷ノ利用ニ關シ全ク之ヲ少尉マカロフニ委任ス爾後黑海軍ハ大ニ攻勢的ニ活動セリ五月十二日夜ノ Batum 六月九日及八月二十四日夜 Salina ノ土艦襲撃ノ如キ是ナリ然レトモ水雷ノ構造未タ完全ナラス豫期ノ效果ヲ收ムルコト能ハサリキ 露土戰役間露軍ノ使用セル水雷ハ少尉マカロフノ研究ニ至リテ魚形水雷ヲ使用スルニ至レリ

七月二十三日露國ノ武裝セル一汽船ハ Kistendje 前方ニ於テ土國甲鐵艦ニ出會シ約五時間ノ戰鬪ヲ交ヘ多大ノ損害ヲ蒙リテ Odessa ニ歸還ス是ヲ土艦ト眞面目ノ戰鬪ヲ交ヘタル第一回トス之ヲ要スルニ主トシテ木造船ヨリ成ル露國艦隊ハ土國裝甲艦ニ對シ其快速力ヲ利用シテ隱顯出沒シ巧ニ

土國海軍ノ行動

危地ヲ脱シ又勇敢沈著ナル水雷攻撃ヲ以テ夜襲ヲ行ヒ戰役末期ニハ遂ニ Bosphorus 海峽以南ニ其威力ヲ及ホスニ至レリ

附記 土國ハ黑海ニ優勢ナル艦船ヲ有セシヲ以テ其數上ヨリ之ヲ見レハ露國沿岸ヲ封鎖シ隨所ニ其威力ヲ發揮シテ露軍ヲ脅威スルヲ得ヘキモ指揮官ハ攻撃精神ニ乏シク兵卒ハ訓練ヲ缺キ技術ハ幼稚ニシテ機械力ノ利用充分ナラス爲ニ却テ時々劣勢ナル露國海軍ノ爲メ制壓セラルルノ奇觀ヲ呈セリ

土國海軍ノ動作ハ極メテ不活潑ニシテ開戰後五月中旬高加士沿岸ヲ砲擊シテ一部ノ陸兵ヲ同地ニ上陸セシメ以テ六月下旬ヨリ七月上旬ニ互リ約四回 Peninsula 半島前方ニ遊弋シ二三要地ヲ砲擊セシノミ而シテ七月以後土國海軍ノ特ニ振ハサリシハ同月中旬スライマン軍ヲ布爾牙利作戰地ニ招致スル爲多數ノ商船及艦隊ノ一部ヲ多島海方面ニ廻航セシメシコト又其一因ナリシカ如シ

次テ土國海軍ハ黑海ニ於テ八月下旬陸兵ヲ小亞細亞ヨリ歐羅巴戰地ニ輸送セシ外(本卷二三頁參照)九月中旬迄情況變化ナク而シテ爾後ニ於テモ遂ニ發展ヲ見サリシカ如シ

千八百七十七年 露土戰史第三卷 終

八月二十六日	八月二十一日	八月二十日	八月十九日	八月十八日	八月十七日	八月十六日	八月十五日	八月十四日	八月十三日	八月十二日	八月十一日	八月十日	八月九日	八月八日	八月七日	八月六日	八月五日	八月四日	八月三日	八月二日	八月一日
...

シベリ 樹皮彈 砲臺

自八月二十一日 至八月二十六日 SIPKA 附近戰鬪露軍參加兵力表

部 隊 號	兵 力			備 考
	歩兵(大隊)	騎兵(中隊)	砲兵(門)	
歩兵第三十六聯隊	三			歩兵第三十六聯隊第二大隊ハ八月二十日 GABROVO ヨリ KALINA ニ來著セリ
布爾牙利歩兵大隊第一乃至第五大隊	五			布爾牙利歩兵第二第三大隊及第五大隊ハ八月二十五日 ヨリ GABROVO ニ退キ休憩セリ
砲兵第九旅團第二中隊第五中隊			一六	
山砲兵第二中隊ノ半部			四	
鹵獲砲兵中隊			七	
歩兵第三十五聯隊(第四中隊缺)	三			歩兵第三十五聯隊(第四中隊缺)ハ KATRINA ヨリ前進シ 八月二十一日 SIPKA ニ來著セリ同聯隊第四中隊ハ聯隊 輻重ノ掩護ニ任シ SEVILJOVO ニ殘留セリ
「ドン」哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門			二	八月二十二日 GABROVO ヨリ SIPKA ニ來著セリ
狙撃歩兵第四旅團	四			八月二十二日 TROVO 附近ヨリ前進シ二十三日午後 SIPKA ニ來著セリ
山砲兵第二中隊ノ二門			二	同 右
哥薩克歩兵二中隊	〇、五			同 右
歩兵第五十五聯隊(第二大隊第十二中隊缺)	一、五			八月二十二日 TROVO 附近ヨリ前進シ二十三日深夜 SIPKA ニ來著セリ但シ歩兵第二大隊ハ TROVO ニ殘留 シ第二中隊ハ GABROVO ニ殘留セリ
歩兵第五十六聯隊	三			同 右
砲兵第十四旅團第二中隊第三中隊			一六	八月二十二日 TROVO ヨリ前進シ第三中隊ハ八月二十 四日拂曉第二中隊ハ二十四日夜 SIPKA ニ著ス
「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ二中隊		二		八月二十二日 TROVO 附近ヨリ前進シ二十三日午後 SIPKA ニ來著シ一時戰鬪シ後翼ノ警戒ニ任シタリ
歩兵第五十三聯隊(第三第四中隊缺)	二、五			八月二十三日 SEVILJOVO ヨリ前進シ二十四日夜 SIPKA ニ來著セリ
歩兵第五十四聯隊	三			八月二十四日 SEVILJOVO ヨリ前進シ二十五日午後九時 SIPKA ニ來著セリ
砲兵第十四旅團第四中隊			八	右 同
「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ二中隊	二			ハシツカ 峠兩側地區ニ在リテ警戒ニ任シ直接戰鬪ニ加ハ ラス
「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊	一			
烏拉爾哥薩克騎兵ノ一中隊	一			
計	二五、五	六	五五	

八月十三日「ルスチユック」兵團軍隊區分

部 隊 號

步兵 (大隊) 騎兵 (中隊) 砲 (門)

右翼部隊		中 央 部 隊		左 翼 部 隊	
シ ー ハ 將 中 長 (長團軍三十第)		ンゼーリド將中長 (長團師二十第兵騎)		フロドンサクレアルーミダラウ將中長 (長團軍二十第)	
第十三軍團	步兵第一師團	騎兵第十二師團ノ内	騎兵第十二師團ノ内	步兵第十二師團	步兵第十二師團ノ内
	步兵第一聯隊	龍騎兵第十二聯隊	騎兵第八師團ノ内	步兵第十二旅團	騎兵第十二師團ノ内
	步兵第二聯隊	槍騎兵第十二聯隊	驃騎兵第八聯隊	親衛騎兵二中隊	「ドン」哥騎兵第十二聯隊ノ一中隊
	砲兵第一旅團(一中隊缺)	騎砲兵第十九中隊	「ドン」哥騎砲兵第九中隊	「ドン」哥騎兵第十二聯隊ノ一中隊	速射砲中隊
	步兵第三十七聯隊				
	步兵第三十八聯隊				
	步兵第三十九聯隊				
	步兵第四十聯隊				
	砲兵第三十五旅團				
	槍騎兵第八聯隊				
	「ドン」哥騎兵第八聯隊				
	騎砲兵第十五中隊				
	「ドン」哥騎兵第十三聯隊ノ一中隊				
計	計	計	計	計	計
一八	一八	一八	一八	一八	一八
一	一	一	一	一	一
六	六	六	六	六	六
四	四	四	四	四	四
六	六	六	六	六	六
八	八	八	八	八	八
三二	三二	三二	三二	三二	三二

豫 備 隊		合 計	
步兵第三十三師團	步兵第三十三師團	步兵第一師團	步兵第一師團
步兵第三十一聯隊	步兵第三十一聯隊	步兵第二聯隊	步兵第二聯隊
步兵第三十二聯隊	步兵第三十二聯隊	砲兵第一旅團(一中隊缺)	砲兵第一旅團(一中隊缺)
砲兵第三十三旅團	砲兵第三十三旅團	步兵第三十七聯隊	步兵第三十七聯隊
		步兵第三十八聯隊	步兵第三十八聯隊
		步兵第三十九聯隊	步兵第三十九聯隊
		步兵第四十聯隊	步兵第四十聯隊
		砲兵第三十五旅團	砲兵第三十五旅團
		槍騎兵第八聯隊	槍騎兵第八聯隊
		「ドン」哥騎兵第八聯隊	「ドン」哥騎兵第八聯隊
		騎砲兵第十五中隊	騎砲兵第十五中隊
		「ドン」哥騎兵第十三聯隊ノ一中隊	「ドン」哥騎兵第十三聯隊ノ一中隊
		計	計
		一八	一八
		一	一
		六	六
		四	四
		六	六
		八	八
		三二	三二

考 備
 一 步兵第一師團第二旅團砲兵第一旅團ノ二中隊ハ大本營ニ直屬セリ
 二 本表ノ外工兵第七大隊及豫備工兵第一中隊ヲ有ス

八月三十日「ルスチユツク」兵團軍隊區分
ニ於ケル

考 備	部 隊 號				部 隊 號						
	隊 備 豫	隊 部 翼 左	隊 部 央 中	隊 部 翼 右	部 隊 號	部 隊 號	部 隊 號	部 隊 號			
一 騎砲兵第十五中隊ノ一門ハ缺損シタルモノノ如シ 二 兵團司令部掩護ニ任シタル部隊ハ歩兵第三百三十二聯隊第一大隊、親衛騎兵二中隊トス 三 本表外ニ工兵一大隊ト一中隊在リ	步兵第三十三師團ノ内 速射砲中隊…………… 親衛騎兵二中隊……………	步兵第十二師團 騎兵第十二師團ノ内 「ドン」哥騎兵第三十七聯隊……………	步兵第三十三師團ノ内 騎兵第十二師團ノ内 騎砲兵第十九中隊……………	步兵第一師團 步兵第三十五師團 騎兵第八師團 「ドン」哥騎兵第十三聯隊ノ一中隊……………	第十三軍團 步兵第一師團 步兵第三十五師團 騎兵第八師團 「ドン」哥騎兵第十三聯隊ノ一中隊……………	步兵第一聯隊…………… 步兵第二聯隊…………… 步兵第三聯隊…………… 步兵第四聯隊…………… 砲兵第一旅團…………… 步兵第三百三十七聯隊…………… 步兵第三百三十八聯隊…………… 步兵第三百三十九聯隊…………… 步兵第四百聯隊…………… 砲兵第三十五旅團…………… 槍騎兵第八聯隊…………… 驃騎兵第八聯隊…………… 「ドン」哥騎兵第八聯隊…………… 騎砲兵第十五中隊…………… 「ドン」哥騎砲兵第九中隊……………	步兵第一聯隊…………… 步兵第二聯隊…………… 步兵第三聯隊…………… 步兵第四聯隊…………… 砲兵第一旅團…………… 步兵第三百三十七聯隊…………… 步兵第三百三十八聯隊…………… 步兵第三百三十九聯隊…………… 步兵第四百聯隊…………… 砲兵第三十五旅團…………… 槍騎兵第八聯隊…………… 驃騎兵第八聯隊…………… 「ドン」哥騎兵第八聯隊…………… 騎砲兵第十五中隊…………… 「ドン」哥騎砲兵第九中隊……………	步兵第三百三十聯隊…………… 步兵第三百三十二聯隊(一大隊缺) 砲兵第三十三旅團ノ四中隊…………… 龍騎兵第十二聯隊…………… 槍騎兵第十二聯隊…………… 騎砲兵第十二師團ノ内……………	步兵第一師團 步兵第三十五師團 騎兵第八師團 「ドン」哥騎兵第十三聯隊ノ一中隊……………	步兵第一聯隊…………… 步兵第二聯隊…………… 步兵第三聯隊…………… 步兵第四聯隊…………… 砲兵第一旅團…………… 步兵第三百三十七聯隊…………… 步兵第三百三十八聯隊…………… 步兵第三百三十九聯隊…………… 步兵第四百聯隊…………… 砲兵第三十五旅團…………… 槍騎兵第八聯隊…………… 驃騎兵第八聯隊…………… 「ドン」哥騎兵第八聯隊…………… 騎砲兵第十五中隊…………… 「ドン」哥騎砲兵第九中隊……………	歩兵(大隊) 騎兵(中隊) 砲(門)
	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	
	四八	七	四八	二四	四八	二四	二四	二四	二四		
	四一	二	四一	一五	四一	一五	一五	一五	一五		
	二二三	二四	二二三	一〇七	二二三	二四	二二三	二四	二二三		

八月三十日ノ露軍ノ軍隊區分

軍部署ニ基ク

部 隊 號

步兵 (大隊) 騎兵 (中隊) 砲 (門)

摘 要

部 隊 號	步兵 (大隊)	騎兵 (中隊)	砲 (門)	摘 要
第八軍團	六	二	三三	狙撃歩兵第四旅團中ニハ哥薩克歩兵二中隊ヲ含ム
狙撃歩兵第四旅團(長少將ツウエチンスキー)	一	一	一	
布爾牙利歩兵七大隊(第一乃至第六大隊)	七	六	四〇	
「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊	四	五	二	
同 騎兵第二十一聯隊第一中隊半部第二中隊	一	一	一	
同 騎兵第二十六聯隊第一中隊	一	一	一	
同 騎兵第三十聯隊第二中隊半部第五中隊	一	一	一	
烏拉爾哥薩克騎兵中隊	一	一	一	
山砲兵第二中隊	一	一	一	
砲兵第五大隊ノ一中隊	一	一	一	
同 第二大隊第一第二中隊	一	一	一	
計	二九五	一一	八三	
臨時配屬部隊				
長少將サロフ(歩兵第十一師團第一旅團長)	一	一	一	
歩兵第四十一聯隊第一大隊	一	一	一	
歩兵第四十二聯隊	一	一	一	
砲兵第十一旅團第四中隊	一	一	一	
同 第三十二旅團第六中隊	一	一	一	
計	四	四	一六	

部 隊 號	步兵 (大隊)	騎兵 (中隊)	砲 (門)	摘 要
西 部 兵 團	二六	一五	九八	
第九軍團	二	一	一	
(長中將クリコネル)	二	一	一	
歩兵第五師團(長中將シルデルシュルデネル)	一	一	一	
歩兵第三十一師團(長中將ウエルヤミノフ)	一	一	一	
騎兵第九師團(龍騎兵第九聯隊)	一	一	一	
歩兵第十六師團(長中將ボランチュフ)	一	一	一	
歩兵第三十師團(歩兵第一百八聯隊第一大隊)	一	一	一	
(長中將ブツァノフ)	一	一	一	
騎兵第四師團(長中將クリコネル)	一	一	一	
砲兵第四旅團(長中將クリコネル)	一	一	一	
砲兵第九旅團第六中隊	一	一	一	
山砲兵第一中隊	一	一	一	
計	四一	二八	一九四	
「ハインキエ」支隊	一	一	一	
長少佐グロマン(歩兵第三十三聯隊長)	一	一	一	
歩兵第三十三聯隊	一	一	一	
「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊第四中隊	一	一	一	
同 騎兵第二十六聯隊第二中隊	一	一	一	
砲兵第九旅團第六中隊	一	一	一	
山砲兵第一中隊	一	一	一	
計	四	四	一六	

部 隊 號	步兵 (大隊)	騎兵 (中隊)	砲 (門)	摘 要
西 部 兵 團	二六	一五	九八	
第四軍團	一	一	一	
(長代理中將クリコネル)	一	一	一	
「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊	一	一	一	
工兵第三大隊(一小隊)	一	一	一	
工兵第五大隊ノ一中隊	一	一	一	
計	四	四	一六	

部 隊 號	步兵 (大隊)	騎兵 (中隊)	砲 (門)	摘 要
中 將 部 兵 團	二七	一〇	一〇六	
(長 團 軍 一 十 第)	二七	一〇	一〇六	
「エレナ」支隊	一	一	一	
長大佐レルマントフ(歩兵第三十四聯隊長)	一	一	一	
歩兵第三十四聯隊	一	一	一	
龍騎兵第十三聯隊	一	一	一	
砲兵第十四旅團第五中隊	一	一	一	
騎砲兵第二十中隊ノ二門	一	一	一	
計	三	三	一〇	
「オスマンバザール」部隊	一	一	一	
歩兵第十一師團(歩兵第四十一聯隊第一大隊)	一	一	一	
(長少將エルンロート)	一	一	一	
歩兵第三十二師團(第二第五聯隊)	一	一	一	
砲兵第三十二旅團	一	一	一	
龍騎兵第十一聯隊	一	一	一	
槍騎兵第十一聯隊	一	一	一	
龍騎兵第十八中隊	一	一	一	
騎砲兵第十三師團	一	一	一	
(長少將ラーデ)	一	一	一	
薩克騎兵第十三聯隊「ドン」	一	一	一	
薩克騎兵第十三聯隊「ドン」	一	一	一	
騎砲兵第二十中隊ノ二門	一	一	一	
計	一四	二二	八〇	
合 計	二七	一〇	一〇六	

部 隊 號	步兵 (大隊)	騎兵 (中隊)	砲 (門)	摘 要
兵 團	四八	四六	二二三	
第十二軍團	一	一	一	
(長ウラヂミール)	一	一	一	
歩兵第十二師團(長中將フォン・フィルクス)	一	一	一	
歩兵第三十三師團(長中將チモフイェフ)	一	一	一	
騎兵第十二師團(長中將ドリーゼン)	一	一	一	
「ドン」哥薩克騎兵第三十七聯隊	一	一	一	
歩兵第一師團(長中將プロコロフ)	一	一	一	
歩兵第三十五師團(長中將バラノフ)	一	一	一	
「ドン」哥薩克騎兵第三十一聯隊(長中將マンウエロフ)	一	一	一	
騎兵第八師團(龍騎兵第八聯隊)	一	一	一	
親衛騎兵第二中隊	一	一	一	
速射砲兵中隊	一	一	一	
工兵第七大隊(四中隊)	一	一	一	
豫備工兵第一中隊	一	一	一	
計	四八	四六	二二三	

「ドン」哥薩克騎兵第三十一聯隊(第一中隊)ハ「ルスチヤク」兵團ニ轉屬ノ目的ニテ八月二十九日頃迄「ドナウ」河右岸ニ移レリ

九月五日露軍「ルスチユック」兵團中央部隊軍隊區分

考 備	カ ツ エ レ ボ Kacelevo		ア ア ラ ノ ボ Ablanovo				ク レ プ チ ア Krepca	オ バ カ Opaka	守 備 地	部 隊 號	步 兵 (大隊)	騎 兵 (中隊)	砲 門	摘 要
	計	計	計	計	計	計	計	計						
一 龍騎兵第十二聯隊一中隊ノ所在不明ナリ 二 歩兵第一聯隊(第一大隊缺)ハ Orendzik ^{オレンヂク} ニアリ	一五	四	一〇五	三	一	三	〇五	二中隊	一	一	二	二	此二部隊ハ各守備地ヲ占領シテ戰闘セス ①歩兵第三百三十聯隊第一大隊ハ戰闘中 Kacelevo 部隊ニ協力シ之ニ合ス ②歩兵第一聯隊第一大隊同第四聯隊、砲兵第一旅團第二第六中隊ハ午前十時頃ニ至リ Ablanovo ニ到着セリ ③砲兵第三十三旅團第一中隊、歩兵第三百三十聯隊撤兵第二第三中隊ハ午前十一時ニ至リ Kacelevo ニ來著セリ	
	一六	一六	一六	一六	四	六	二	二	二	二	二	二		二
合 計	一五	四	一〇五	三	一	三	〇五	二中隊	一	一	二	二		
	七八	一六	一六	一六	四	六	四							

九月五日 KACHELLEVO 附近戰鬪露軍損傷表

部 隊 號	死		傷		失 踪	計
	將 校	下 士 卒	將 校	下 士 卒		
步兵第三百三十二聯隊(第一大隊缺)	三	一〇〇	六	二七六		三八五
步兵第三百三十聯隊		三六	一〇	一四六	八	二〇〇
龍騎兵第十二聯隊第一第二第四中隊		一			一	二
砲兵第三十三旅團第一中隊			五			五
砲兵第三十三旅團第五中隊	一	四		四	一	一〇
計	四	一四一	二二	四二六	一〇	六〇二

備考
 步兵第三百三十聯隊第一大隊及砲兵第三十三旅團第一中隊ハ戰鬪開始後戰鬪ニ加入セルモノナリ

九月五日 АБЛАНОВО 附近戰鬪露軍損傷表

部 隊 號	死		傷		失 踪	計
	將 校	下 士 卒	將 校	下 士 卒		
步兵第二百二十九聯隊(三中隊缺)	三	七八	一〇	二四六		三三七
步兵第三百一十一聯隊(第一大隊缺)	一	一六	六	一四七		一七〇
步 兵 第 四 聯 隊		一六	六	八四	二	一〇八
步兵第一聯隊第一大隊				一		一
砲兵第三十三旅團第二第三第四第六中隊	一	四	二	二八		三五
「ドン」哥薩克騎兵第三十一聯隊第二中隊		六	一	二二	四	三三
槍騎兵第十二聯隊(半中隊缺)			一	二		三
砲兵第一旅團第二中隊		一		五		六
計	五	一二二	二六	五三五	六	六九三

備 考 一 騎砲兵第十九中隊砲兵第一旅團第六中隊速射砲四門ニハ損害ナシ

自九月五日
至九月十二日

PLEVNA 第三會戰露、羅兩軍參加兵力表

攻擊軍司令官 羅馬尼王
軍參謀長 中 將 ヴォトフ (舊西部兵團司令官)

部隊號

部隊號

兵力
(大隊) (中隊) (門)

兵力
(大隊) (中隊) (門)

第四軍團 中長 將 フロリク

團師四第兵騎	團師十三第兵步	團師六十第兵步
フエチンオレ將少長	フコニトニシ將中長	フエツンラメボ將中長
騎兵第一旅團 龍騎兵第四聯隊 槍騎兵第四聯隊 騎兵第二旅團 驃騎兵第四聯隊 騎砲兵第七中隊 騎砲兵第八中隊	步兵第一旅團 步兵第百十七聯隊 步兵第百十八聯隊 步兵第二旅團 步兵第百十九聯隊 步兵第百二十聯隊 砲兵第三十旅團	步兵第一旅團 步兵第六十一聯隊 步兵第六十二聯隊 步兵第二旅團 步兵第六十三聯隊 步兵第六十四聯隊 砲兵第十六旅團
計	計	計
二四	三三	三三
一四	三三	三三
六六	四八	四八
一〇八		

第九軍團 中長 將 ヲリク

團師九第兵騎	團師一十三第兵步	團師五第兵步
フエリカユシラ將少長	フノミヤルウウ將中長	ルネアルムシラテシ將中長
騎兵第一旅團 龍騎兵第九聯隊 槍騎兵第九聯隊 騎兵第二旅團 驃騎兵第九聯隊 「ドン」哥薩克騎兵第九聯隊 騎砲兵第十六中隊 「ドン」哥薩克騎砲兵第二中隊 龍騎兵第八聯隊(臨時配屬)	步兵第一旅團 步兵第百二十一聯隊 步兵第百二十二聯隊 步兵第二旅團 步兵第百二十三聯隊 步兵第百二十四聯隊 砲兵第三十一旅團(第五中隊缺)	步兵第一旅團 步兵第十七聯隊 步兵第十八聯隊 步兵第二旅團 步兵第二十聯隊 砲兵第五旅團
計	計	計
二二	三三	三三
四四	三三	三三
六六	四〇	四八
一〇〇		

少將 メイクレンキス 第一部隊

團師二第兵步	狙撃步兵第三旅團	砲兵第三旅團
一キスンチレメイ將少長	「ドブ」ロウスキ	第三第五第六中隊
步兵第一旅團 步兵第五聯隊 步兵第六聯隊 步兵第二旅團 步兵第七聯隊 步兵第八聯隊 砲兵第二旅團	狙撃步兵第九大隊 狙撃步兵第十大隊 狙撃步兵第十一大隊 狙撃步兵第十二大隊	高加士哥薩克騎兵旅團 「グヤン」哥薩克騎兵聯隊 「ウラジカウカス」哥薩克騎兵聯隊 「ドン」哥薩克騎砲兵第八中隊
計	計	計
三三	四	二四
三三	六	四
六六	六	二四
一〇〇		

羅馬尼軍

司令官 參謀 將大 官佐

團師二第	團師三第	團師四第
ツヘルケ佐大長	スレゲンアグルオグ官將長	一コスルゲンアルデンサクレア佐大長
步兵第一旅團 後備步兵第七聯隊 獵兵第四大隊 步兵第二旅團 後備步兵第六聯隊 步兵第三旅團 後備步兵第五聯隊 獵兵第一大隊 後備騎兵第四聯隊 後備騎兵第一第二聯隊 砲兵一聯隊 騎砲兵中隊	步兵第一旅團 後備步兵第九聯隊 後備步兵第十聯隊 步兵第二旅團 後備步兵第八聯隊 後備步兵第十一聯隊 後備步兵第十二聯隊 獵兵第三大隊 後備騎兵第五第六聯隊 砲兵一聯隊	步兵第一旅團 後備步兵第十三聯隊 後備步兵第十四聯隊 步兵第二旅團 後備步兵第十五聯隊 後備步兵第十六聯隊 獵兵第二大隊 後備騎兵第三第七第八聯隊 砲兵一聯隊
計	計	計
一七	一三	一一
一七	一三	一一
三六	三六	三六
四二	三六	三六

總計	合計
一〇六	四二
八八	三三
四二八	一一四

備考

- 一 露軍ノ全指揮ハ中將ツォトフ事實上之ヲ執レリ
 - 二 騎兵第四師團「ドン」哥薩克騎兵第四聯隊ハ各司令部ノ傳令用トシテ分割セラレタリ
 - 三 第九軍團步兵第五師團ノ第十九聯隊及同軍團砲兵第三十一旅團第五中隊ハ Nikolai ノ守備ニ任セリ
 - 四 少將イメレチンスキ一部隊ノ内高加士哥薩克騎兵旅團ノ騎兵一中隊ハ Lovca ノ守備ニ任セリ
 - 五 步兵第三師團ノ步兵第一旅團及砲兵第三旅團ノ三中隊ハ初メ大本營ノ護衛ニ任セシカ八日步兵第九聯隊及砲兵第一中隊ヲ攻撃軍ニ増加シ其他ハ「ルスチュック」兵團ニ増加セシメタリ
 - 六 「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊ノ二中隊ハ Nikolai 附近ニ在リシモノノ如シ
 - 七 本表ノ外露軍ニ工兵一大隊羅馬尼軍ニ工兵二大隊アリ(此外ニ工兵一中隊アルモ戰團ニ參加セシヤ否ヤハ不明ナリ)
 - 八 露軍步兵一大隊ハ戰團員平均約八百、騎兵一中隊ハ二百二十名ニシテ羅馬尼軍ノ步兵一大隊ハ戰團員平均約六百名トス
- 攻撃軍全兵力歩兵約八萬、騎兵約一萬、砲四百三十門ニシテ砲卒及非戰團員ヲ合シ人員約十萬馬匹二萬ナリ

九月十一日ニ於ケル PLEVNNA 攻撃軍兵力區分表

備	方面	右翼		中央		左翼		岸左河 Vit	合			
		任務	部隊	任務	部隊	任務	部隊					
一 實際ニ於ケル羅馬軍ノ全指揮ハカール王露軍ノ全指揮ハ中將ツォトフ之ヲ執リシモノノ如シ	任務	方堡壘ノ攻	長將官セルナタ	砲	砲兵第三十旅團第一第二第三中隊	砲	砲兵第三十旅團第一第二第三中隊	退路脅威	一〇六			
	部隊	方堡壘ノ攻	長中將シルデル、シュルデネル(步兵第五師團長)	砲	砲兵第三十旅團第一第二第三中隊	砲	砲兵第三十旅團第一第二第三中隊	退路脅威	八〇			
	兵力	四二	四二	九	九	九	九	龍騎兵第八聯隊	四二〇			
	力	一〇二	一〇二	一〇	一〇	一〇	一〇	羅馬馬尼第二師團騎砲兵一中隊	二〇			
	摘要	一 上記兵力ノ内第二師團ノ步兵 二 大隊ハ輜重掩護ニ充テタリ 三 大隊ハ戰闘ニ參加セザリシ部 隊歩兵二十三大隊砲三十六門	一 攻擊部隊ノ指揮ハ中將シュニ トニコフニ委ネ中將クリロフハ 初メ軍總豫備隊ノ位置ニ在リ	一 砲兵ハ統一指揮官ナク又ハ射 撃目標ヲ分配セザリシモノノ如 シ本表ハ實際ノ經過ニ依リテ射 撃目標分配ノ情況ヲ示シタルモ ノナリ	一 砲兵第三十旅團第三中隊砲獲砲 二 門ハ此部隊ニ屬セシモ砲兵山 ニ在リテ射撃ニ關シ砲兵第十六 旅團長ノ指揮ヲ受ケシメタリ 二 砲兵第二旅團第一中隊ノ四門 第二中隊ノ六門砲獲砲二門ハ破 損シ使用ニ堪ヘザリシモノノ如 シ又此日ノ戰闘ニ於テ第一中隊 ハ二門第三十旅團第四中隊ハ二 門ヲ破損セリ 三 十一日ノ戰闘ニ加ハラザリシ 部隊歩兵三大隊半砲二十四門	一 此兩部隊ハ第九軍團長ノ指揮 ニ屬セシカ又攻撃軍司令官ノ指 揮ニ屬セシヤ明カナラズクハ トキンモ亦其著書ニ此兩部隊ノ 任務及指揮ノ系統明確ナラサル コトヲ記セリ 二 步兵第二十三聯隊ハ後砲兵 掩護部隊ニ增加セリ 三 十一日ノ戰闘ニ參加セザリシ 部隊歩兵九大隊砲十六門 一 此部隊ハ一大隊ヲ軍司令部ノ 護衛ニ殘シ他ハ十一日夕中將 シルデルシヨルゲネルニ增加ス 但シ十一日戰闘ニ參加セズ 二 步兵第二十聯隊ハ十一日午後 中將シュニトニコフノ部隊ニ増 加ス 三 十一日ノ戰闘ニ參加セザリシ 部隊歩兵六大隊砲三十門	長少將イメレチンスキー 步兵第二師團(第七聯隊缺) 砲兵第二旅團第四第五第六中隊 砲兵第三旅團第三第五第六中隊	長少將レオンチェフ(騎兵第四師團長) 高加士哥薩克騎兵旅團(騎兵十一中隊) 「ドシ」哥薩克騎兵旅團(騎兵七中隊) 騎兵第四師團第一旅團(八中隊) 騎砲兵第七中隊	長少將ラシニカリエフ 騎兵第九師團(驃騎兵第九聯隊缺) 龍騎兵第八聯隊 羅馬馬尼第二師團騎砲兵一中隊	一〇六	八〇	四二〇

考 備	翼		左		中央		中		翼				
	岸左河 ^{ウイ} Vit	退路脅威	左翼掩護	少將スコベ レフ部隊ノ 支援	Plavna 西 南方堡壘ノ 攻撃	兵	砲	隊備豫總軍擊攻	第九軍團山 砲兵掩護	第九軍團方 面特別豫備	擊 羅馬尼軍 右側掩護 第九軍團及羅馬 尼軍ノ連絡	擊 羅馬尼軍 右側掩護 第九軍團及羅馬 尼軍ノ連絡	
一 實際ニ於ケル羅馬尼軍ノ全指揮ハカール王露軍ノ全指揮ハ中將ツォトフ之ヲ執リシモノノ如シ 二 本表ノ外「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊ノ四中隊ハ攻撃軍司令部及第九軍團司令部ノ護衛ニ任シ羅 馬尼第三師團ノ騎兵第四聯隊ハ後方連絡線ノ警戒ニ充テラレ又高加士哥薩克騎兵一中隊ハ「ロフチヤ」 備ニ任シ又羅馬尼第三師團ノ砲兵一中隊ハ會戰當時現在セス	長少將ラシニコリエフ 騎兵第九師團(驍騎兵第九聯隊缺) 龍騎兵第八聯隊 羅馬尼第二第三師團騎兵四聯隊 羅馬尼第二師團騎砲兵一中隊	長少將レオンチエフ(騎兵第四師團長) 高加士哥薩克騎兵旅團(騎兵六門中隊) 「ドシ」哥薩克騎兵旅團(騎兵七中隊) 騎兵第四師團第一旅團(八中隊) 騎砲兵第七中隊	長少將イメレチンスキ 步兵第二師團(第七聯隊缺) 砲兵第二旅團第四第五第六中隊 砲兵第三旅團第三第五第六中隊	長少將スコベレフ 步兵第十六師團第一旅團第六十二聯隊 狙擊步兵第三旅團 步兵第二師團第七聯隊 砲兵第二旅團第一第二中隊 砲兵第三十旅團第四中隊	主トシテ Plavna 市ヲ射撃スルモノ 攻城砲兵(四門)	主トシテ第十四號堡壘ヲ射撃スルモノ 砲兵第三十一旅團第一第二中隊 砲兵第五旅團第一第二第三中隊 砲兵第三十旅團第一第二第三中隊 攻城砲兵(十六門)	主トシテ第十一號堡壘ヲ射撃スルモノ 砲兵第三十一師團第三中隊 砲兵第十六旅團第一第二中隊 主トシテ第十六號堡壘ヲ射撃スルモノ 砲兵第十六旅團(第一第二中隊缺) 主トシテ第十八號第十九號堡壘ヲ射撃スルモノ 砲兵第二旅團第三中隊 鹵獲砲兵中隊(二門)	步兵第三師團第九聯隊 砲兵第三旅團第一中隊 步兵第三十師團第二旅團(第九軍團所屬) 步兵第五師團第二十聯隊(第九軍團所屬) 驍騎兵第四聯隊 砲兵第三十旅團第五第六中隊 砲兵第五旅團第五中隊 騎砲兵第八中隊	步兵第三十一師團第一旅團(第九軍團所屬) 步兵第三十一師團第二旅團(第九軍團所屬) 砲兵第三十一旅團第四第六中隊	長中將クリロフ(第四軍團長) 步兵第三十師團第一旅團(第九軍團所屬) 步兵第十六師團第二旅團(第九軍團所屬) 兩旅團ノ統一指揮官中將シュニトニコフ(步兵第三十師團長)	步兵第五師團第一旅團(第九軍團所屬) 砲兵第五旅團第四第六中隊	步兵第五師團第一旅團(第九軍團所屬) 砲兵第五旅團第四第六中隊	
	一〇六	八〇	四二〇	九	一三	四	八〇	三	六	六	二	四	二
	三四	一八	四八	一四	四	一〇	二四	八	一六	一	一	一	一
			高加士哥薩克騎兵旅團ノ騎兵十一 中隊ノ内一中隊ハ「ロフチヤ」守備隊 トノ連絡ニ任シ直接戰團ニ與ラス	一 砲兵第二旅團第三中隊鹵獲砲 二門ハ此部隊ニ屬セシモ砲兵山 ニ在リテ射撃ニ關シ砲兵第十六 旅團長ノ指揮ヲ受ケシメタリ 二 砲兵第二旅團第一中隊ノ四門 第二中隊ノ六門鹵獲砲二門ハ破 損シ使用ニ堪ヘサリシモノノ如 シ又此日ノ戰團ニ於テ第一中隊 ハ二門第三十旅團第四中隊ハ二 門ヲ破損セリ 三 十一日ノ戰團ニ加ハラサリシ 部隊歩兵三大隊半砲二十四門	一 砲兵ハ統一指揮官ナク又ハ射 撃目標ヲ分配セサリシモノノ如 シ本表ハ實際ノ經過ニ依リテ射 撃目標分配ノ情況ヲ示シタルモ ノナリ	一 此部隊ハ第九軍團司令部ノ指 揮ニ屬セシヤ明カナラスクロバ トキンモ亦其著書ニ此兩部隊ノ 任務及指揮ノ系統明確ナラサル コトヲ記セリ 二 歩兵第三十師團ハ後砲兵 三 十一日ノ戰團ニ參加セサリシ 部隊歩兵九大隊砲十六門 一 此部隊ハ一大隊ヲ軍司令部ノ 護衛ニ殘シ他ハ十一日夕中將 シルデルシルデルニ增加セス 但シ十一日戰團ニ參加セス 二 歩兵第二十聯隊ハ十一日午後 中將シュニトニコフノ部隊ニ増 加ス 三 十一日ノ戰團ニ參加セサリシ 部隊歩兵六大隊砲三十門	一 此兩部隊ハ第九軍團長ノ指揮 ニ屬セシカ又攻撃軍司令部ノ指 揮ニ屬セシヤ明カナラスクロバ トキンモ亦其著書ニ此兩部隊ノ 任務及指揮ノ系統明確ナラサル コトヲ記セリ 二 歩兵第三十師團ハ後砲兵 三 十一日ノ戰團ニ參加セサリシ 部隊歩兵九大隊砲十六門 一 此部隊ハ一大隊ヲ軍司令部ノ 護衛ニ殘シ他ハ十一日夕中將 シルデルシルデルニ增加セス 但シ十一日戰團ニ參加セス 二 歩兵第二十聯隊ハ十一日午後 中將シュニトニコフノ部隊ニ増 加ス 三 十一日ノ戰團ニ參加セサリシ 部隊歩兵六大隊砲三十門	一 攻撃部隊ノ指揮ハ中將シュニ トニコフニ委ネ中將クリロフハ 初メ軍總豫備隊ノ位置ニ在リ					

合 計

一〇六

八〇

四二〇

中將クリロフヨリクロパトキンニ宛

送リタル書簡ノ要旨

千八百八十四年三月十八日附

前略十日朝少將スコベレフ ラヂエホ Radzevo ニ來リ提議シテ曰ク「攻撃軍ハ七日以來既ニ三日間全正面ニ互リ砲撃ヲ行フト雖モ未タ充分ノ効果ヲ收ムルコト能ハス故ニ力ヲ一點ニ集注シ猛烈ニ一地ヲ攻撃突破スルヲ要ス之カ爲予ハ今日ヨリ第十八第十九號堡壘ヲ攻撃セントス願ハクハ第四軍團ハ ツチエニツツ Tucenica 河谷ニ沿フ地區ヨリ前進シ以テ我攻撃ヲ援助セラレタシ」ト予ハ全ク之ニ同意シ攻撃前進ヲ約ス而シテ之ト共ニ其決心ヲ攻撃軍參謀長ニ通報セリ

然ルニ十日夜ニ於ケル總攻撃ニ關スル軍命令ニ依レハ第四軍團ハ其二旅團ヲ以テ 當時軍團長ノ部下ニ 中央ヨリ敵陣地ヲ攻撃セサルヘカラス從テ少將スコベレフトノ約束ハ軍總豫備隊ヨリ兵力ノ増加ヲ得ルニ非スンハ之ヲ

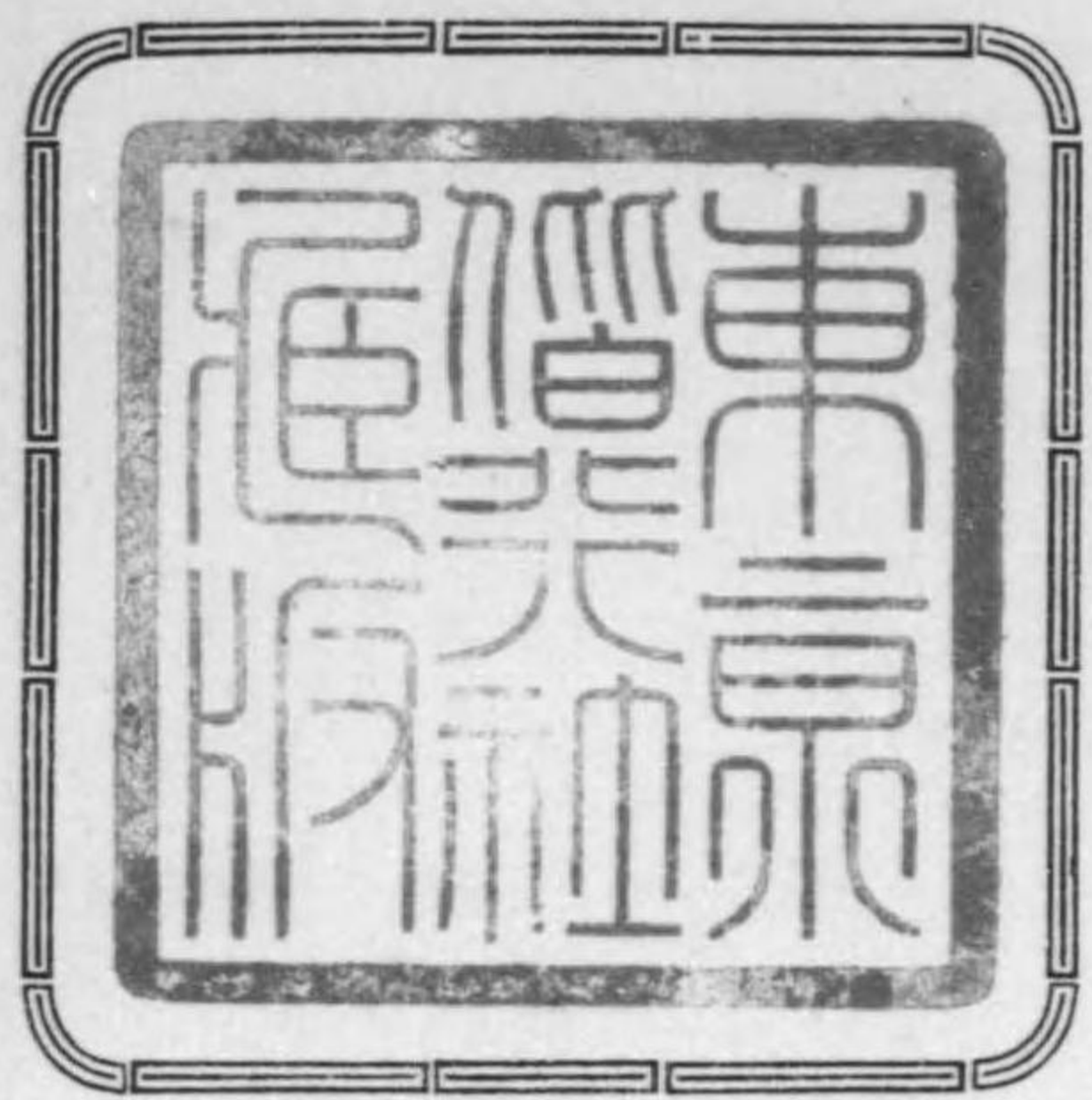
實施シ能ハサルニ至レリ十一日中央ノ攻撃ハ其實施過早ニ失セシ爲必勝
ノ計畫モ晝餅ニ歸シ予ハ逐次全兵力ヲ該方面ニ増加スルニ至レリ十二日
午前九時少將スコベレフヨリ予ハ敵ノ攻撃ヲ受ケ退却セントスルモ新銳
ノ部隊無キヲ以テ之ヲ實施シ能ハサル窮況ニ在リトノ通報ヲ受ク依テ該
方面ニ増加隊ヲ派遣スルハ刻下ノ急務ナリト判斷シ步兵第百十七第百十
八聯隊ヲ急行セシメタリ
步兵第百十八聯隊 Tuchenica 河谷ニ下ラントスルトキ中將ツォトフヨリ第
四軍團方面ノ砲兵危険ニ曝露スルヲ以テ増援中ノ部隊ヲ直ニ召還スヘキ
命ヲ受ク予ハ此命令ノ實施ヲ躊躇セリ時ニ中將ツォトフ親ヲ幕僚ト共ニ
來リ更ニ該部隊ヲ召還スヘキコトヲ命令ス
予ハ少將スコベレフトノ約束ヲ履行スル爲該部隊ノ派遣ハ絶對ニ必要ナ
シト信シ砲兵ノ危険ニ備フル爲軍總豫備隊ニ在ル第四軍團ノ諸隊ヲ隸下
ニ復歸セシメラレンコトヲ再三懇願セリ然ルニ中將ハ之ヲ拒絕シ且曰ク

軍ハ Osma 河ノ線ニ退却シ増加隊ノ來著ヲ待タントス故ニ總豫備隊ヲ第
一線ニ増加スルヲ得スト今ヨリ之ヲ考フルニ當時土軍ハ其全力ヲ少將ス
コベレフ部隊方面ニ集合セシヲ以テ第十六號堡壘ニ對シ更ニ一回ノ攻撃
ヲ行ハハ成效セシナランモ總豫備隊ノ増加ヲ拒絕セラレ且予ノ部下ハ多
大ノ損害ヲ蒙リ且尙二聯隊ヲ他ニ分遣セシヲ以テ到底之ヲ實施スルコト
能ハサリシナリ蓋シ當時漫然無爲ニ終リシハ軍團ノ殘部ニアラスシテ實
ニ總豫備隊ノ全部ナリ云々



大正五年二月二日印刷

大正五年二月五日發行



發行者

東京市麴町區飯田町二丁目五十二番地

石井良次郎

發行所

東京市麴町區飯田町二丁目五十二番地

東京偕行社

印刷者

東京市日本橋區兜町二番地

星野錫

印刷所

東京市日本橋區兜町二番地

東京印刷株式會社

終